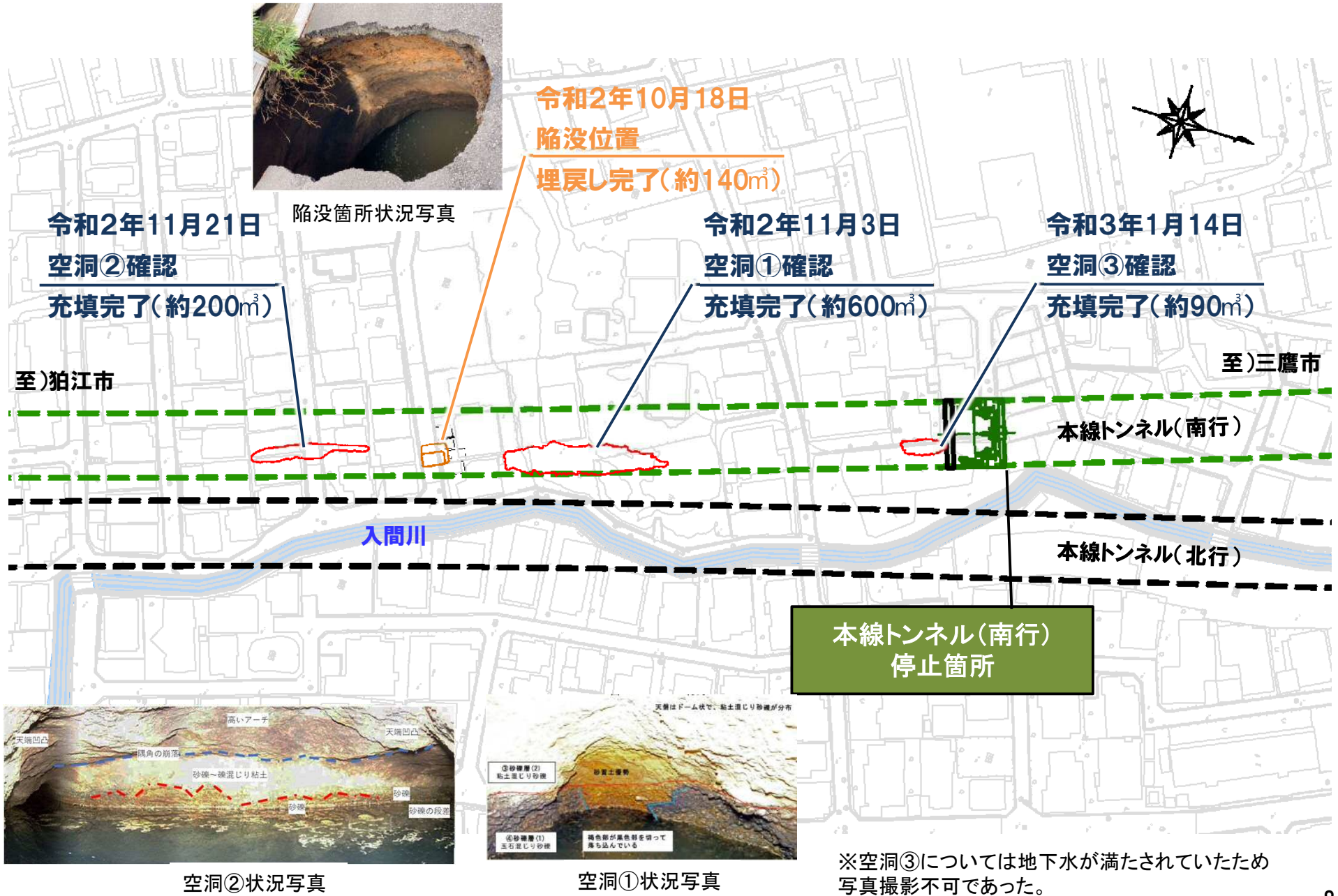
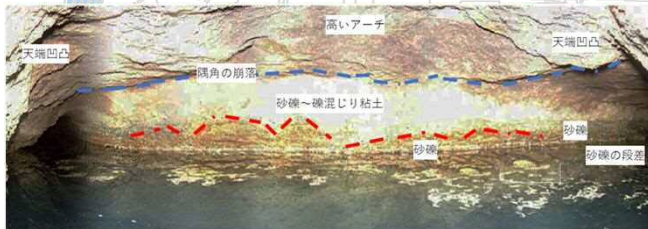


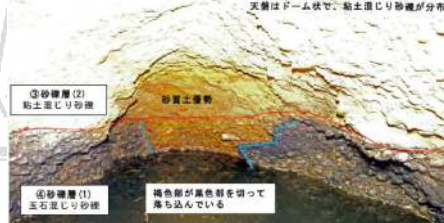
# 陥没・空洞事故の経緯 [発生箇所の位置]



陥没箇所状況写真



空洞②状況写真



空洞①状況写真

# 陥没・空洞事故の経緯

## ■これまでの経緯

2020年

- |            |   |
|------------|---|
| 10月18日     | 地表面の陥没を確認<br>応急措置として砂による埋土を実施（翌朝埋土完了）       |
| 10月19日     | 第1回 有識者委員会※を開催                              |
| 10月23日     | 第2回 有識者委員会を開催                               |
| 11月 3日     | 陥没箇所から約40m北にて、空洞①を確認<br>（11月24日充填作業完了）      |
| 11月 5日     | 第3回 有識者委員会を開催                               |
| 11月 6日、7日  | 陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催（計3回）                   |
| 11月21日     | 陥没箇所から約30m南にて、空洞②を確認<br>（12月3日充填作業完了）       |
| 11月27日     | 第4回 有識者委員会を開催<br>陥没箇所周辺の方を対象に家屋中間調査の意向確認を開始 |
| 12月18日     | 第5回 有識者委員会を開催<br>・陥没・空洞の要因分析（中間とりまとめ）       |
| 12月20日、21日 | 陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催（計3回）                   |
| 12月25日     | 専用フリーダイヤルを開設                                |

※トンネルの構造、地質・水文、施工技術等について、より中立的な立場での確認、検討することを目的として設置。

# 陥没・空洞事故の経緯

## ■これまでの経緯

2021年

- 1月 8日 家屋補償等に関する相談窓口を開始  
※3月末時点で計18回実施
- 1月14日 陥没箇所から約120m北にて、空洞③を確認  
(1月22日充填作業完了)
- 2月12日 第6回 有識者委員会を開催  
〔・追加調査等を踏まえた効ニズムの特定  
・地盤の補修範囲等の特定  
・再発防止対策の基本方針の議論〕
- 2月14日、15日 陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催 (計3回)
- 2月26日 陥没箇所周辺の各戸訪問(約1,000世帯)を開始
- 3月19日 第7回 有識者委員会を開催  
〔・再発防止対策の確定  
⇒報告書の公表〕
- 4月 2日～7日 陥没箇所周辺及び沿線7区市の方を対象とした説明会を開催  
(計10回)
- 4月19日 常設の相談窓口(つつじヶ丘相談所)を開設

# 陥没・空洞事故の経緯

## ■現在の対応状況

- 陥没箇所周辺の約1000件の方へ、補償や家屋中間調査に関するご案内等を行うとともに、専用フリーダイヤルや相談窓口等において、住民の皆様からのご相談やお問合せ等に対応させていただいております。
- 建物の調査を実施した方へ建物の補修工事を行う等、被害の申し出をいただいた住民の方に、個別の事情を丁寧にお伺いし、必要な補償・補修の対応をさせていただいております。
- 確実に地盤の補修工事を行うため、地盤補修範囲にお住いの方へ、仮移転または事業者による買取等のお願いをさせていただくとともに、調査や測量にもご協力いただきながら、地盤補修工事の施工方法等の検討を行っております。